

後期チューターになる学生の皆様

後期チューター制度の活用を予定する留学生受入教員の皆様

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた  
2020 年度後期チューター制度実施について

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、2020 年度後期チューター制度実施に係る留意事項を下記のとおりまとめましたので、チューターになる学生におかれては、下記の事項に十分留意しながら留学生へのチューター支援を実施してください。

記

【チューターの開始にあたって】

秋学期に渡日する留学生は、到着した空港にて PCR 検査を受け、陰性が証明された後、原則として到着した空港近くの宿泊施設にて 14 日間待機した上で、公共交通機関により学生宿舎を含めたつくば周辺に移動するよう、大学として周知しております。このため、支援する留学生の 14 日間の待機期間が終了していることを必ず確認してからチューター支援を開始してください。

【チューター説明会開催の中止について】

例年 9 月中旬に開催している後期チューターを対象としたチューター説明会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止します。

説明会にて配布を予定していた資料については、本学ホームページ

(<http://www.tsukuba.ac.jp/students/international/tutor.html>) に 9 月下旬を目途に掲載予定です。必ず資料を確認した上で、チューター支援を実施してください。

【渡日予定であった留学生の渡日が延期になった場合】

留学生の渡日が延期となった場合でも、留学生本人や留学生の指導教員の必要に応じ、メールのやりとり等オンラインでチューター支援を行う場合（例：オンライン授業受講に係るサポート等）には、チューター業務として報告することを可とします。

ただし、留学生の渡日延期に伴い、入学時期が延期される場合または入学辞退となる場合については、たとえオンラインにてサポートした場合でも、報告不可となります（筑波大学に所属していない者への支援となるため）。このため、オンラインでチューター支援を予定する場合、チューターの学生においては、「実施願」を提出する際に当該留学生の指導教員に「オンラインでのチューター支援の必要性及び支援対象の留学生の学籍発生の有無」を必ず確認してください。

なお、渡日が延期になった留学生のオンラインサポート時間については、当該留学生の渡日が実現した際に、生活立ち上げ支援についても実施できるよう、時間配分（上限 40 時間）には十分留意してください。

留学生が渡日できず、実施報告書にサインをもらうことができない場合には、留学生より渡日できない旨をメールに記載のうえ送信してもらってください。そのメール文の写しをサインの代わりとしますので、実施報告書に添付してください。

【当初 2020 年 4 月入学の外国人留学生で渡日できずにいた学生の渡日の実現する場合】

後期のチューター支援が可能となる時間数としては

「40 時間 — 前期実施時間（オンラインでチューター支援を実施した時間）」を上限とします。

（例）前期、オンライン授業を海外で受講するにあたり、チューターから履修登録の補助などオンラインにてチューター支援を 10 時間分受けた外国人留学生の場合、秋学期にあわせて渡日の実現し、日本での生活の立ち上げ支援等のためにチューター支援を受けることが可能となる時間としては最大 30 時間（40 時間-10 時間）となる。

【その他】

対面で支援する際はマスクの着用を徹底する等、常に感染拡大防止を念頭におきながらチューター支援を実施してください。

質問・不明点がある場合は、下記の問い合わせ先、もしくは留学生の所属する対応エリア支援室学生支援担当にお問い合わせください。

【チューターに関する問い合わせ】

学生交流課（留学生支援）

[isc-shien@un.tsukuba.ac.jp](mailto:isc-shien@un.tsukuba.ac.jp)